

政策整理番号 16

評価シート(A) (政策評価:政策を構成する施策の評価)

対象年度	H18	作成部課室	農林水産部 農産園芸環境課	関係部課室	経済商工観光部 富県宮城推進室、観光課、商工経営支援課 農林水産部 食産業振興課
------	-----	-------	---------------	-------	---

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系

政策名	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	政策番号	2 - 5 - 1
-----	--------------------------	------	-----------

政策概要 農林水産業や商業などの産業分野を越えた連携、消費者のニーズに対応した新しい地域製品の開発、観光資源の創出、情報発信など地域資源を総合的に活かした地域産業の振興を目指します。

施策番号	政策を構成する施策名 施策の概要	政策評価指標	達成度	社会経済情勢を示すデータの推移
------	---------------------	--------	-----	-----------------

1	農林水産物の付加価値の向上 県内の農林水産物を活用した新たな商品開発や生産者自身による加工・販売など、付加価値を高めることにより、農林水産業の生産・販売額の向上を目指します。	アグリビジネス経営体数	A	該当なし
2	農林水産業や観光産業などの産業間の連携 地域の自然環境や農林水産業の特色を活かし、新たな観光に結びつけるなど、地域産業を育成するため、農林水産業、観光産業等との連携を目指します。	地域資源活用事業創出件数	A	該当なし
3	地域資源を活用した観光産業の振興 地域の歴史や文化、豊富な食材、祭り、イベントなどの地域資源を活用した観光産業の振興を目指します。	観光客入込数	A	該当なし
4	地域間の連携による地域産業の育成 地域間や分野間の交流や連携により、これまで地域ごと、分野ごとに培われてきた起業化のための知識や経験、商品開発のアイデアや技術を融合し、新しい産業の育成を目指します。			
5	地域資源を活用するための情報集積・情報提供 地域の生産物・商品・観光などの地域資源の活用に向け、消費者ニーズの的確な把握と情報の収集を行うとともに、これら地域資源の積極的な情報提供ができる環境づくりを目指します。			
6	農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成 地域産業の活性化を図るため、地域の事業者、NPO、ボランティアなど関係機関が連携し、地域資源の活用に向けた組織づくりや異業種間の人的交流などによるネットワークづくりを目指します。			
7	魅力ある商店街づくりによる商業の振興 人々の日常の買い物の場となっている商店街をきれいで明るい空間に整えたり、人々が集える場所や買い物をしやすい仕組みをつくり、買い物に行きたくなくなるような商店街づくりを目指します。	中心市街地活性化基本計画策定市町村数及びTMO認定数	A.B	該当なし

政策評価指標の達成度:A(目標値を達成している)、B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す方向と逆方法に推移している)
...(現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の詳細は各施策の「政策評価指標分析カード」を参照してください。

A - 1 施策群設定の妥当性

適切

【評価の根拠】 各施策が政策の目的に沿っているか、社会情勢から見て必要か、重複や矛盾がないか
・各施策は政策の目標に沿っており、必要性が高いと判断される。施策間に重複や矛盾はなく、施策の設定は「適切」だと判断する。

A - 2 政策評価指標群の妥当性

政策評価指標については「政策評価指標分析カード」もご覧ください。

適切

【評価の根拠】 各政策評価指標は施策の有効性を評価する上で適切か
・各施策に設定されている政策評価指標は、各施策の有効性を評価するうえで「適切」だと判断した。

A - 3 施策の有効性 有効

施策番号	施策の有効性	【評価の根拠】 「政策評価指標の達成度」及び「社会経済情勢を示すデータの推移」から見て施策が有効か
1	有効	・政策評価指標「アグリビジネス経営体数」は目標を達成しており、施策が目指す方向に推移していることが判断できるので、施策は「有効」と判断する。
2	有効	・政策評価指標「地域資源活用事業創出件数」は既に平成22年度の目標を上回っており、施策が目指す方向に推移していることが判断できるので、施策は「有効」と判断する。
3	有効	政策評価指標「観光客入込数」は目標を達成しており、施策が目指す方向に推移していることが判断できるので、施策は「有効」と判断する。
4		
5		
6		
7	概ね有効	・政策評価指標「中心市街地活性化基本計画策定市町村数」は、2市町村増で仮目標値を上回っている。政策評価指標「TMO認定数」は、1増で年間の目標数は達成しているが、仮目標値は達成できなかった。施策は概ね目指す方向に推進していると考えられるので、施策は「概ね有効」と判断する。
政策全体	有効	・施策の有効性では、4施策のうち3施策を「有効」、1施策を「概ね有効」と判断した。 目標値を達成した政策評価指標は3指標であり、目標値を達成していない指標は1指標あるものの、1指標に2単位を設定しており、1単位は目標値を達成している。 以上のことから、政策全体では「有効」と判断する。

A 政策評価(総括) 適切

【評価の根拠】	A-1, 2, 3を総括し政策を総合的に評価 ・各施策は政策の目標に沿っており、必要性が高いと判断する。また、政策評価指標の達成度からは、産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出が進んでいると考えられることから、政策の設定及びその推進は「適切」に行われていると判断する。
【課題】	この政策(各施策)における今後の課題等を記載 ・この政策では、アグリビジネスに取り組む農業者の掘り起こしや、まちづくりの一環の中で商店街の活性化支援を展開していく必要がある。